



令和4年11月25日

広島国道事務所からの
お知らせ

同時資料提供先：合同庁舎記者クラブ
広島県政記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

建設現場の生産性向上技術を体験!!

～ 構造物のBIM/CIM・ICT活用工事見学会 ～

国土交通省では、建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す取り組みであるi-Constructionを2016（H28）年度より進めており、2025（R7）年度までをファーストステージとし、ICT活用の拡大などにより建設現場の生産性2割向上を目指しています。

この度、BIM/CIM・ICTを活用した橋梁下部工事の工事見学会を開催いたします。

見学会では、BIM/CIMを活用した施工計画の検討、ICTを活用した構造物の出来形管理による生産性の向上についてご紹介します。

※BIM/CIM(Building/ Construction Information Modeling, Management)とは、計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入することにより、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図る取組です。

○日 時：令和4年12月2日(金) 10:00～11:00

○開催場所：広島南道路建設事業地内_広島県安芸郡海田町寿町地内（別紙①②参照）

○参加者：建設会社、建設コンサルタント 及び 地方公共団体等の技術者

○内 容：BIM/CIMを活用した施工計画検討

ICT技術を活用した出来形管理（橋脚）

○施工者：株式会社 加藤組

※取材を希望される場合は、事前に下記担当まで連絡をお願い致します。

（問い合わせ先）

国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所

副所長 河井 知久（かわい ともひさ）

【担当】 工事品質管理官 丹後 浩一（たんご こういち）

TEL (082) 281-4137 FAX (082) 286-7900

○広島国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hirokoku/>

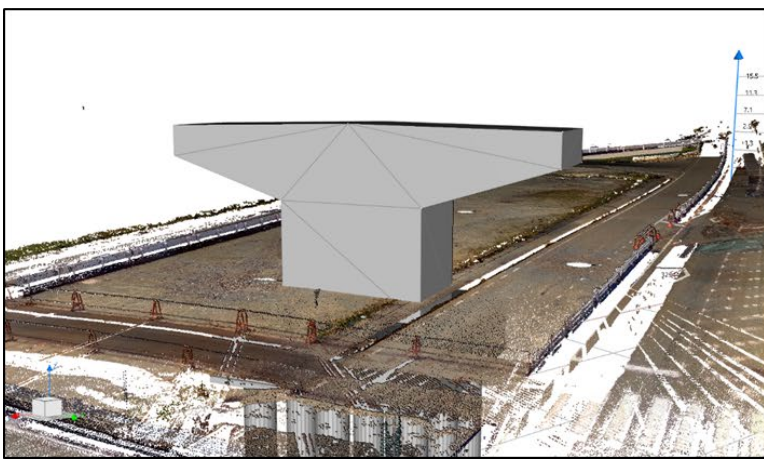


広島国道事務所HP

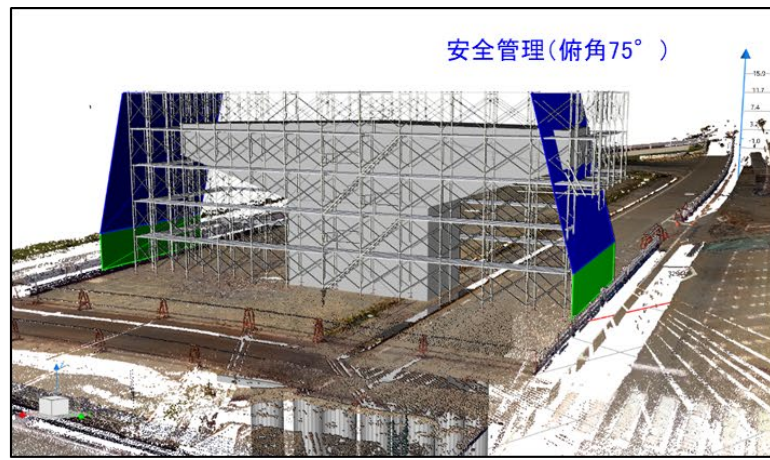
【参考】工事見学会の紹介技術概要

・BIM/CIMの取組みについて

施工箇所は、車道と隣接しており狭小であるため、施工におけるリスクの見える化と施工計画の検討方法について、作成した施工状況の3Dモデルを活用して紹介。



地形モデル+構造物モデル(橋脚)



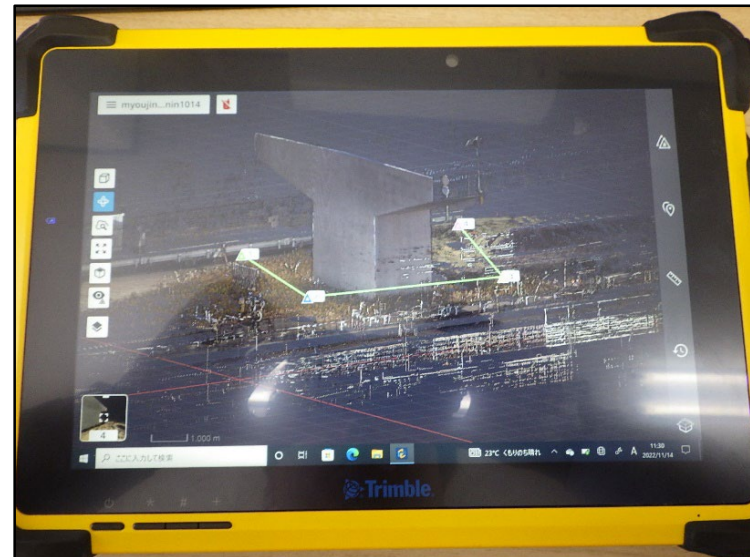
地形モデル+構造物モデル(橋脚)+構造物モデル(仮設足場)

・ICT技術を活用した出来形管理(橋脚)

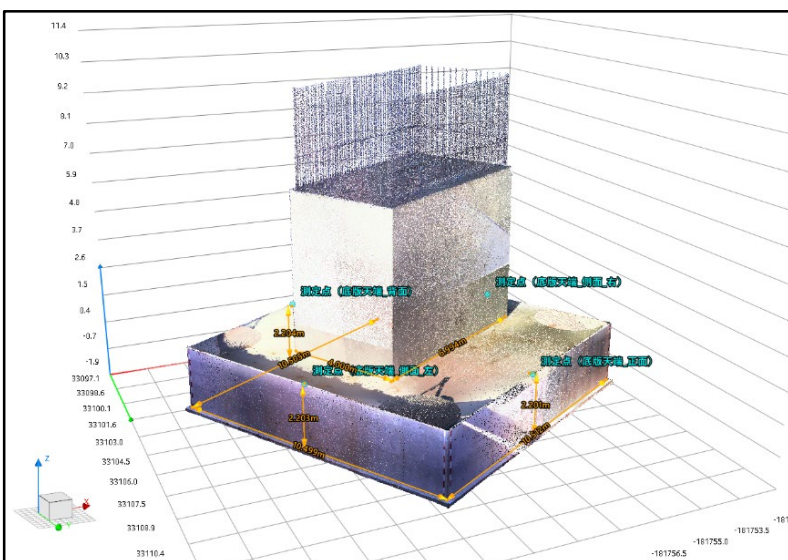
ICT技術を活用した橋脚工(底版と柱)の出来形管理の計画や実施方法について概要を紹介し、地上型レーザースキャナーによる点群データの取得について実演。



橋脚施工完了部の出来形確認(点群データ取得状況)



取得した点群データ



点群データによる出来形確認



現場見学会会場
 令和3年度広島南道路明神高架橋第5下部工事
 広島県安芸郡海田町寿町4・5

国土地理院地図(電子国土web)(<http://maps.gsi.go.jp>)を基に広島国道事務所作成

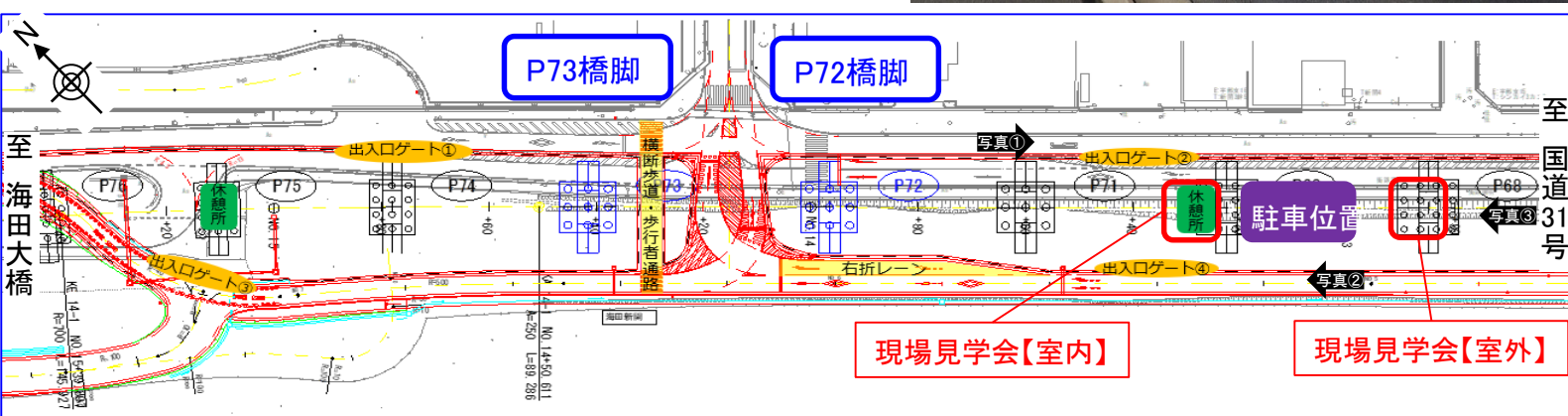


写真①

現場見学会【室内】



※ゲートNo2又はNo4から入場して下さい。
 ※入場の際は、交通誘導員の指示に従って下さい。



現場見学会【室内】

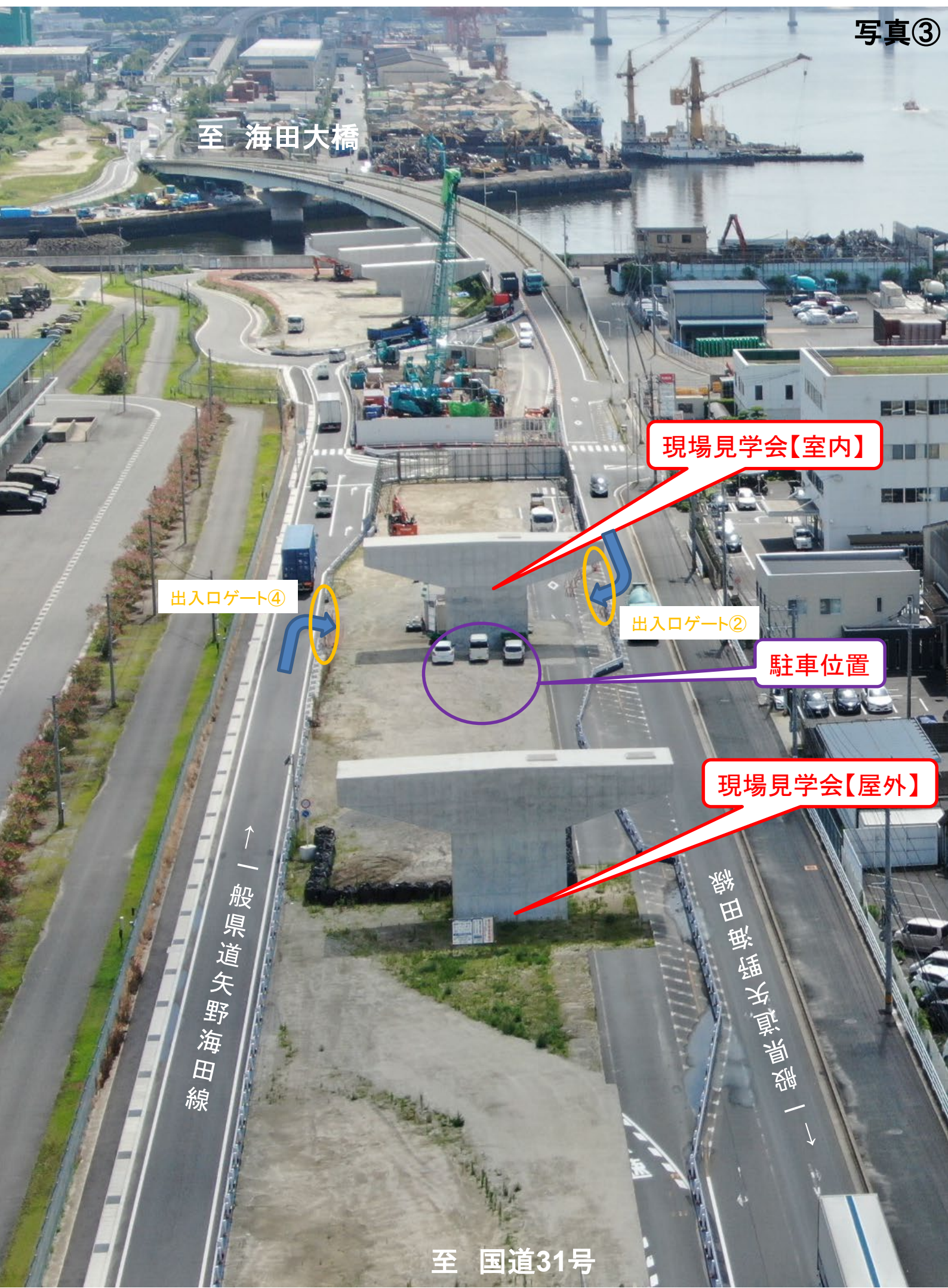
現場見学会【室外】



写真②

駐車位置





至 海田大橋

現場見学会【室内】

出入口ゲート④

出入口ゲート②

駐車位置

現場見学会【屋外】

↑ 一般県道矢野海田線

↓ 一般県道矢野海田線

至 国道31号